

会 議 結 果

会議名	平成29年度 第2回西尾市地域公共交通活性化協議会
日時	平成30年1月11日(木) 午前10時15分～11時45分
場所	西尾市役所 5階 51会議室
出席者	西尾市地域公共交通活性化協議会委員17名 事務局2名 (欠席：中村行男氏)
傍聴者	5名
議 事	<p><u>1 開会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布資料確認。 ・人事異動による名古屋鉄道株式会社委員変更の紹介。 <p><u>2 議題</u></p> <p><u>(1) ふれんどバスの碧南高校への延伸について(報告事項)</u></p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1により説明。 <p><u>(2) いっちゃんバスの利用状況について(報告事項)</u></p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2により説明。 <p>○杉本委員(中部運輸局愛知運輸支局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一色町公民館や大宝橋で他路線への乗継ができ、一つのPRになると思うが、現在の乗継利用状況はどのようなか。今後そういった周知を検討していただきたい。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いっちゃんバスパンフレットの裏面に記載のとおり、発着点である一色町公民館で名鉄東部交通バス一色線、ふれんどバスに乗り継げるようになっている。市の再配置事業として一色地区の主要な公共施設を一色町公民館へ集約したことに伴い、一色線、ふれんどバスの停留所も併せて集約し乗継利便性の向上を図った。 ・現在のところ詳細な乗継利用状況は把握していないが、今後OD調査等の経年比較や利用者アンケートにより把握分析していく。現場でのヒアリングなどでは、一色地区の周辺部から一色町公民館までいっちゃんバスを利用し、その後一色線に乗り継いで西尾市民病院へ向かう方が見られる。 ・一部町内会では、西尾市民病院までの乗継先路線の時刻も掲載したいっちゃんバスの啓発チラシを独自に配布しており、今後他地区への展開も含め、乗継利用のPRに力を入れたい。 <p>○石原会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域、行政、事業者が一体となったこのような路線が真のコミュニティバスであると実感している。こういった事例を一つずつ大きくしていけば必ず住みよいまちになる。 <p>○岡田委員(西尾市民生委員児童委員協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いっちゃんバスの運行が始まり、地域にとっては大変いいことだが、年間利用者数の目標18,000人に対し、現状3分の1程度の利用である。事務局としてどのように考えているか。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域自ら1便5人以上という目標設定を行い、年間では約18,000人の目標となる。ほとんど利用のない便もあり、現状の利用が続くようであれば難しく見直しも必要となってくるが、地域では早速協議会を開催し、利用状況の分析や改善案の検討を行っているため、地域と行政

が一体となって盛り上げていきたい。

○石原会長

・こういった事業はPDCAを適切に実施し改善していくことが非常に大切になる。引き続き地域と行政で改善していってもらいたい。

○颯田委員（西尾市名鉄西尾・蒲郡線応援団）

・利用状況を見ていると無料乗車が半数であるが、そのうち小学生や75歳以上の免許証返納者がどれくらいの割合か教えてもらいたい。

○事務局

・現在のところ無料乗車の内訳は把握していないが、アンケート等の調査を今後地域主体で行っていくためその中で利用者属性等を把握していきたい。

(3) 吉良地区におけるいこまいかーの目的地拡大について（協議事項）

○事務局

・資料3により説明。

○石原会長

・事前登録制とのことだが、高齢者への説明会など吉良地区の公共交通協議会が絡んだ周知活動は考えられているか。

○事務局

・吉良地区からは改善案を提案するからには利用促進の活動を行っていくとの声を頂いている。連携できるところからやっていきたい。いこまいかーについては、現在でも高齢者との関わりのある包括支援センターなどの機関と連携して周知をしており、引き続き事前登録の啓発を連携して行っていく。

○近藤委員（西三河建設事務所西尾支所）

・利用者にとってはとても便利になると思うが、これまでと制度が変わることで運行にあたり何か問題がないのか。

○事務局

・県内の他市町村を見てもデマンドタクシーで商業施設や医療機関へ行けるところがあり、同じような形態である。一般タクシーのようにどこでも行けるわけではないが、吉良地区では鉄道はあるものの、地域内の日常のおでかけの際の移動手段がほとんどないため、既存のいこまいかーの活用によりカバーをしていく。バスが便利な地域で同じような形態を採ることはないが、不便な地域への展開は吉良地区での動向を見ながら検討していく。

○杉本委員（中部運輸局愛知運輸支局）

・手続き的には本日の会議での承認後、実施の1ヶ月前までに申請していただければ問題ないが、スムーズな実施のためできるだけ早めにこちらの担当と調整していただきたい。

●議題（3）について全会一致で承認。

(4) 運転免許証自主返納支援事業の拡大について（協議事項）

○事務局

・資料4により説明。

○小林委員（愛知県バス協会 代理）

・他市町村の会議にも参加しており、西尾市はかなり手厚い支援だと思うが、75歳以上としている根拠があるのか。

○事務局

・明確な根拠は無いが、事業開始当時に県内の他市町村の取組みを調査した結果、75歳以上としたと聞いている。必要があれば今後年齢の引き下げ等を検討したい。

○石原会長

- ・警察の方へ伺いたいが、西尾警察署管内での高齢者の交通事故状況はどのようなか。

○竹内委員（愛知県西尾警察署交通課）

- ・手元に資料は無いが、全体では減少している中で高齢者が関わる事故が増えている。高齢者対策を進めなければ西尾の交通事故は減っていかない。

○岡田委員（西尾市民生委員児童委員協議会）

- ・自分は幡豆出身だが、80歳過ぎた方でも車を運転している。返納するにしても代替の移動手段が無ければ買い物にも行けなくなってしまう。早急に対策を考えてほしい。

●議題（4）について全会一致で承認。

（5）平成29年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について（協議事項）

○事務局

- ・資料5、参考資料1により説明。

○杉本委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・補助事業の評価としては別添1、別添1-2を国に提出してもらえば済むが、中部運輸局ではより効果的な評価・改善となるよう補助路線だけでなく公共交通網全体を評価してもらうこととしている。
- ・内容については、別添1の内容を中部様式に挿入していただくとなつてくる。
- ・7ページについては、文章的に記載してあるが、箇条書きにより課題と対応方針がわかりやすいように記載してほしい。
- ・アピールポイントについては、新規に行ったことと見える化の推進も記載してほしい。

○神谷委員（愛知県交通対策課 代理）

- ・参考資料1の補足だが、地域を跨る路線については県の同じような会議で扱っている。資料5の後ろ4枚のような評価票を事業者・沿線自治体に記載していただき、これに基づき国に提出している。これらの路線についてもぜひ日頃から意識を向けていただきたい。

○石原会長

- ・軽微な修正については事務局一任とさせていただきたい。

●議題（5）について全会一致で承認。

3 その他

4 閉会

以上